



寶性

平成二十八年 第一号 お正月発行



住職 画

平成二十八年の新春を迎え、謹んで至心に篤い三宝を誦し、併せて檀信徒各位のご平安を祈念申し上げます。



住職	松野 大英
副住職	松野 大樹
筆頭総代	遠山 甚蔵
法類	総代 一同
寺族(住職妻)	大谷 忍昌
	松野 弘美

修正会

一年の健康と幸せをお祈りする法要です。

● 会期 一月三日(日)

● 時間 十一時

● 場所 当寺本堂

※十二時より客殿にて新年会を開催いたします。

☆一年の心願成就のご祈願のために、お札・お守り・絵馬・おみくじなどをご用意しております。
ご希望の方は、お申し出下さい。



申 歳

猿歳にまつわることわざを二つご紹介致します。

「猿も木から落ちる」「猿は人間に毛が三筋足らぬ」「猿が魚を釣る」等たくさんのことわざがあります。

●「猿の尻笑い」

猿が自分の尻の赤いことに気が付かないで、他の猿の尻が赤いことを笑う意味ですが、自分の欠点に気付かず、他人の欠点を笑って馬鹿にする。私共は、とかくこのようになりがちです。人間の愚かな部分でもあり、自戒しなければならぬことと思います。

また、愛染明王影向松に「己のめくらは柵へあげ、人をめくらうというやつは、しっかい猿のしりわらい」とあります。もちろん、めくらとは物事を理解していない人のこと。笑われたいようにしたいものです。

●「猿に烏帽子」

猿に烏帽子をかぶせる意味からですが、人柄にふさわしくないことのたとえにて、外観だけ装って内面が伴わない。なかなか耳の痛い部分でもあります。



嵯峨 面

浄土宗特別寺院・京都・清涼寺に伝わる、嵯峨狂言に使われた面を復刻した民芸品です。

古い和紙を使い、趣のある面です。

伏見 焼

京都伏見稲荷に伝わる焼物です。現在ただ一軒のみ残る土物の人形です。

客間の床の間に飾ってありますので、「嵯峨面」ともどもご覧下さい。



平成二十七年九月二十三日(水) 十一時より秋季彼岸会
法要が厳修されました。百十四名様のご参加をいただき
ました。

「日常勤行式」の勉強は「本誓偈」でした。

みだほんせいがん
弥陀本誓願

ごくらくしようもん
極楽之要門

じょうざんとうえこう
定散等回向

そくしようむしようしん
速証無生身

弥陀の本誓偈は極楽の要門なり 定散等しく回向して
無生身を証せん

阿弥陀様がお誓いした救いの願いは、私達が極楽浄土
に生まれるための一番大切な教えです。

あらゆる功德を積んで、極楽浄土に生まれるためにふ
りむけ、速やかに永遠の命を得ましょう。

手を合わせ、お念仏を唱え、お経を読み、香華を献じ
ますが、これ皆、功德となって自分自身にさざかります。
この功德をふり向け廻してご供養します。



彼岸会ご参加の方には、野菜のボールペン(アスパラ)、
にこまるクッキー、ソーイングセットをお供物としてお
持ち帰りいただきました。

平成二十八年度春季彼岸会、皆様のご参加お待ちしております。
います。

はにわ

茨城より「埴輪」（はにわ）が届きました。
大小の「馬の埴輪」です。玄関先で皆様をお迎え
たしております。



年間行事

一月	三日 (日)	修正会
二月	十五日 (月)	涅槃会
三月	二十日 (日・祝)	春季彼岸会回向
四月	八日 (金)	花まつり
五月	二十八日 (土)	施餓鬼会
六月	吉日	蓮見の会(茶室にて抹茶拝服)
七月	十三日 (水)	迎え盆
八月	十三日 (土)	七月盂蘭盆会回向・送り盆
	十六日 (土)	八月盂蘭盆会回向
	十六日 (火)	送り盆
九月	二十二日 (祝)	秋季彼岸会回向



仏具料とは

皆様からご奉納いただいております「御仏具料」とは御法要時の「御布施」とは異なります。

御本尊様仏具、御本堂、客殿、境内それぞれの整備のためにお納めいただいたものです。

仏具、お衣、お袈裟などの品々を御奉納いただくこともございます。これらに感謝録として掲載させていただきますいております。

皆様からの「御布施」は、公表いたしておりません。「御布施」とは異なりますので何卒ご理解ください。

門限時間の変更

日没時間が早くなりました。閉門時間を変更させていただきます。

十一月より二月末まで

午後四時閉門

☆ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確です。ご利用下さい。

ファックス番号 03(3883)3227

振替口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七-十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

